

海旅業界

# 関西シニア会会報

発行人 恒松 一郎 海旅業界関西シニア会 大阪市西区江戸堀2-1-1 (江戸堀センタービル) 株式会社トラジャルウエスト内

2002  
4月  
第  
13  
号

## メッセージ

会長 恒松 一郎

シニア会も13回目の総会を終え14年目を迎えることになりました。会員も150名を越え、お陰様にて年々ますます活況を呈して参りました。発足当時全員現役であった会員も、現在では45%の方が現役を退いておられる現状にあります。今後この比率は現役の新規会員が増えても、徐々に増加を辿ることと思われまふ。そして、このシニア会の存在そのものも高齢化社会の時代を迎え、皆様の生活を少しでも潤いのあるものにするお手伝いという面で意義あるものになりつつあると考えます。従って、今年度の活動方針は、同好会活動等のアクティビティをより活性化させ、現役・OBを問わずできるだけ多くの方々に行事に参加していただけるよう内容の充実を図りました。

ゴルフも参加者が年々増え、好ましくなつてまいりました。今年、第25回目を4月に迎え桜吹雪の下賑やかな記念大会なりそうです。毎回参加者8組30名以上が今年度の目標です。

ウォーキングも今年、従来の健脚向きコースに加え、距離の短い歩きやすいコースを新たに追加、又高山委員のご努力で「医師と歩こうトーク&ウォーク」の行事に合流参加させていただくことが出来るようになりました。

テニス同好会も、場所とかの問題もあり実現がなかなか難しいと思っていたのですが、久保田委員のもと新規発足することになりました。

国内旅行は、昨秋海南の地・黒江・湯浅・清水町を訪れ、秋日和に恵まれ醤油発祥の地などを日帰りコースで体験、参加者には喜ばれましたが、今年も楽しい旅行を出来れば企画してみたいと思つております。

また、海外旅行では長期間に亘つて安価・安心・快適さを追求する旅行としてロングステイがありますが、

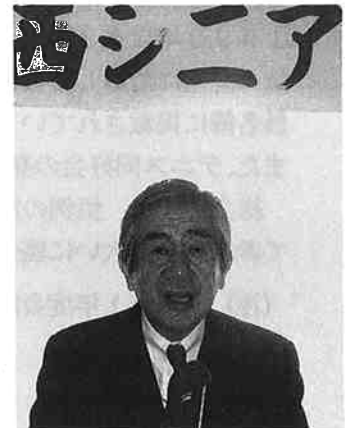
シニア会では、今年特別プログラムとしてこれを取り上げ、マレーシア政府観光局のご協力にて7月にキャメロンハイランドの体験ツアー7日間を実施したいと思います。これは、山田晴義氏のご提案を採択いたしました。

キャメロンハイランドでは、一ヶ月夫婦で滞在しても旅行費用15万円位で収まるようで、ゴルフを楽しんでも年金の範囲内・いろいろ利用価値がありそうです。

次にパソコンの話題になりますが、現在、会社であれ家庭であれ、シニア会メンバーでメールアドレスをお持ちの方は全会員の半数以下という状況です。メールを中心に会の連絡を取り合う情報ネットを築くにはまだまだ不足です。この課題は将来に譲るとして、今年、少しでも前進させるためパソコン同好会を発足させたいと思います。西宮にある少人数制パソコン教室「class-e」をサロン代わりとして、同好の方々との集いを持ち、コーヒーでも飲みながらパソコン談義で技術の向上に役立てたいと思います。その席に先生をお呼びすることも可能です。また、ホームページ作成も今年度の課題です。

いろいろ今年度の趣向を述べさせていただきましたが、総会・懇親会やビア・パーティーだけでは無く是非これらの行事を皆様のライフサイクルの一部に加えていただき「健康」と「心の安らぎ」を目指してシニア会アクティビティご参加くださいますようお願いいたします。

ご夫婦で参加の呼びかけも、今年テーマの一つです。会員の皆様とともに、この会をより楽しいものにしてゆきたいと思つています。是非皆様のご参加ご協力をお願い申し上げます。



## 2002年度 総会開催

海旅業界関西シニア会第13回総会が2月16日(土)午後、大阪梅田の関西文化サロンで過去最高となる60名の会員が出席して開催されました。(委任状提出者62名)

昨年の総会で会長に選任され、2年目の舵取りにあたる恒松会長から新年度活動方針(本誌トップのメッセージ参照)などが発表されたあと、2001年度会計報告および2002年度予算案が承認されました。また、運営委員から提出された会則改正案も満場一致で可決され即日発効しました。

1999年以来3年ぶりの改定となりますが、シニア会も発足して14年目を迎え、会員の構成や意識の変化に対応して会のよりスムーズな運営を目指した改正となりました。新会則は2002年度会員名簿に掲載されています。

また、テニス同好会の発足に伴ってテニス同好会委員として久保田勝さんが運営委員に加わりました。

総会終了後、恒例の懇親会が行なわれ、buffet形式の昼食とともにビンゴゲームで、トシを忘れて参加者全員大いに盛り上がりました。

(注) 2001年度会計報告書および2002年度予算は別紙をご参照ください。



## 会員の動向

シニア会の活動活性化のため、「参加意識を高める」ことを目標に、年間を通じて会員増強キャンペーンを実施した結果、2月末現在34名を新会員として迎えることが出来ました。

2002年2月末現在の会員数は正会員147名、物故者11名です。

### ◇新入会員(敬称略・入会順、カッコ内は入会年月)

住田 博子(01年1月)	好田 武臣(01年6月)	佐藤 洋一(01年9月)
小濱 正弘(01年3月)	池本 裕一(01年6月)	阪口 嘉平(01年10月)
池谷 正(01年5月)	石川 淑英(01年6月)	滝本緋紗子(01年10月)
石田 昭(01年5月)	栄藤 嘉明(01年6月)	孝橋 智子(01年11月)
石土 輝和(01年5月)	近藤 恒人(01年6月)	三原 和雄(01年12月)
五十棲安雄(01年5月)	前田 稔(01年6月)	生駒 義之(02年1月)
織田 公文(01年5月)	山本 豊(01年6月)	佐藤 博巳(02年2月)
高井 英雄(01年5月)	片岡 克彦(01年6月)	山下 克彦(02年2月)
中井 武秀(01年5月)	小堀 晃(01年7月)	松岡 勝太(02年2月)
根木 旭行(01年5月)	笹部 勝明(01年7月)	子安 豊(02年2月)
藤尾 直樹(01年5月)	武若 淳(01年7月)	
益田 健二(01年5月)	中吉 泰江(01年8月)	

### ◇物故会員

須崎 信子(元ノースウエスト航空・2001年8月逝去)

## 同好会活動

### ●ゴルフ同好会

[担当委員]高橋謙治 (電話: 075-934-0246 Eメール: takahasi@eos.ocn.ne.jp)

◇2001年度は4回の活動に延べ73名の会員及び夫人が参加し、活発な活動を行ないました。成績は以下のとおりです。

第23回大会	4月10日(火)	能勢カントリークラブ	参加者17名
		優勝 谷口 淳 準優勝 西岡 喜久男	3位 工藤好彦
研修会	6月4日(月)	箕面ゴルフクラブ	参加者16名
		優勝 中村 省二 準優勝 日永 平	3位 寺西 徹
第24回大会	9月20日(木)	奈良若草カントリークラブ	参加者17名
			(含: 同伴者 1名)
		優勝 安川 葵 準優勝 境 俊造	3位 若林 和彦
研修会	11月15日(木)	ロータリーゴルフクラブ	参加者23名
			(含: 同伴者 2名)
		優勝 鎌田 利春 準優勝 須摩 信雄	3位 田中 良子

### ◇2002年度スケジュール

第25回大会	: 4月9日(火)	能勢カントリー倶楽部(記念/花見コンペ)
		-第25回記念大会として取りきりトロフィーを用意しております-
研修会	: 7月中旬(日時場所未定)	
第26回大会	: 10月中旬(日時場所未定)	
研修会	: 12月上旬(日時場所未定: 忘年コンペ)	



### ●ウォーキング同好会

[担当委員]高山嘉明 (電話: 0797-31-3177 Eメール: technotour@nyc.odn.ne.jp)

◇2001年度は臨時コースを含めて5回催行し、設定日の天候にも恵まれたため各コースとも10名以上の参加者がありました。

### ◇2002年度スケジュール

初心者やご夫人が気軽に参加していただけるよう、各コースとも身体的負担を軽減するようにコース設定しました。

第1回	4月7日(日)	芦屋の桜と文学散歩	10km 3H 10:00	JR芦屋駅
第2回	5月12日(日)	葛城山つつじ見物	4km 3H 10:00	近鉄御所駅
第3回	6月2日(日)	柳生街道	10km 4H 9:00	近鉄奈良駅
第4回	7月20日(祝)	赤目四十八滝	7km 4H 10:00	近鉄赤目口
第5回	10月6日(日)	天王山とサントリー	4km 2H 10:00	JR山崎駅
第6回	11月10日(日)	湖東三山の紅葉	10km 4H 9:00	JR京都駅
番外編	03年2月	高見山霧氷登山	7km 5H 9:00	近鉄榛原駅
海外編	(未定)	香港トレッキングツアー	-後日発表-	

### ●テニス同好会

[担当委員]久保田 勝 (電話: 0797-32-7388 Eメール: KTSJP@aol.com)

12名のメンバーでスタートしました。楽しくプレーすることをモットーに活動します。初心者大歓迎。

◇第1回例会(3月23日 芦屋国際ローンテニスクラブ)後、メンバーズミーティングで年間活動計画を決定しますが、2ヶ月に1回位のペースで近隣各地のコートで例会を開催します。

## 尺八との出会い

岡本和郎  
(号 籟旺)

尺八を習い始めて17年になる。当時近畿日本ツーリストの先輩が尺八教室を始められたので、見学に行きそのまま弟子入りしたのがそもそもの付き合いの始まりとなった。

約10名程の人々と毎週1回音を出す練習から始まった。基本音階は「ロツレチハ」の5音で低い音階の乙音と高い音階の甲音があり、それで10音となるが、指とあごの操作で約40もの音を出さねばならない。基本音階が吹けるようになったのは1ヶ月後で、最初の演奏会出演は2年後であった。大阪北御堂ホールでの箏曲「摘み草」の演奏を終えた時の感動は忘れることの出来ないものであった。

尺八の上端の歌口と呼ばれる部分に息を吹き込み、息が歌口で内部と外部に等分されなければ音がでない。尺八には5つの孔があり、指で開閉する組み合わせにより音階も出るわけだが、音の強弱、孔を全開・半開・4分の3開・4分の1開などの指の操作とあごの操作により種々の音色を出さなければならない。この意味で尺八は非常に演奏がむづかしい楽器であると言える。尺八は手作りですべて1本ずつ音も異なるので、合奏する場合他の演奏者と合わせる必要もあるのである。

そもそも尺八は数千年の昔、中央アジアに竹や葦に孔を開けた笛の類があって、その後インドに渡り仏教の伝来と共に中国を経由して渡来したもので、文献によれば聖徳太子がこれを愛玩されたという。現に奈良の正倉院には、聖武天皇御物として尺八が8管、法隆寺に1管あるが、現代のものとは比べて余程細く短く古代尺八と呼ばれている。現在の大きさ・形のものは虚無僧が吹いていたもので、普化尺八と言われる。

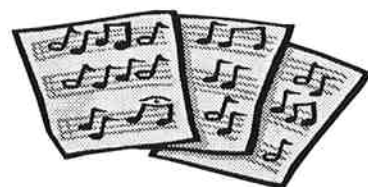


徳川幕府が特別保護で虚無僧にだけ尺八の吹奏を許していたが、明治4年普化宗の廃止により誰でも尺八を吹奏出来るようになり、大いに流行した。

明治中期には大阪の中山都山が出て「都山流」を興し、大正6年には上田芳懂が「上田流」を誕生させた。元禄時代からの黒沢琴古に0よる「琴古流」と合わせて三大流派となっている。現在の尺八は歌口に水牛の角がはめ込んであり、竹の根の部分を利用して、これと同形のものは外国に無いから、尺八はわが国が発祥と言えるかも知れない。

私の師は上田流の重鎮で、既に80歳を迎えられたが、現在も毎週指導して下さっている。師は常に「プロを目指しているわけではない。楽しく吹奏することが肝要である」と教えておられる。尺八は趣味としては優雅で、琴や三味線などの日本古来の楽器との合奏も楽しく、一人でも、他の人との合奏も楽しめるため、今後とも十分継続して楽しむそうである。

(元 近畿日本ツーリスト)



## シニアひこーき野郎の夢

“We love flying”

岸本 康 哉

“空を飛ぶ” この単純で難解な夢を追いつづけて

海旅業界関西シニア会事務局から「好きな軽飛行機について」書くようにとの原稿依頼を受けた。

一般的でない少し変わった趣味だけに、シニア会の皆様にとのようにご理解いただけるか不安はあるが私なりに書かせていただく事にした。

軽飛行機に興味を持ったのは、自宅が大阪市の南に位置し大阪八尾空港（小型機専用日本一のタワー空港）に近いせいもある。高校生の時、当時サンケイ新聞航空部に有名な飛行機野郎、藤本航空部長（故人）が設立された「全日本学生飛行クラブ」が布張りのハイパースーパーカブ型1機を所有。それに20分間乗せてもらったのが初フライトで今も脳裏に焼き付いている。航空大学も挑戦したが能力不足で失敗・・・中略・・・大手電機メーカーに就職。30代は忙しくて飛行機のことを考える余裕はなかった。40代から旅行業に携わり航空機に接する機会ができ、若き日の夢が甦ってきた。インハウスエージェントも軌道に乗り、落ち着いてきた50代後半になって子供達も独立。ある日家族に夢を打ち明けたところ、保険加入が条件でOKがでた。



不況で米国に帰ったセスナ「コンドル」、妻と

#### 訓練開始から6年、飛行時間300時間達成

30年振りで行くと、なんと「飛行クラブ」は立派に活動していた。（失礼かな）

あの桂文珍師匠も月に数回、テレビや高座のない日に、日本でただ一機の「カナード機」でFLIGHTを楽しんでおられる。飛行教官から国内だけの訓練では訓練費、時間などとても簡単には行かないと言うアドバイスを受けた。それなら海外に行ってみようかと決断したまではよかったが、長期の休暇はとても無理な現実から工夫をして5月、8月の長期休暇（メーカーは年2回有り）をホームスティすることにし、数年間続けた。

50代後半で若者と一緒にホームスティするのも大変だったが、プラス思考で結構楽しかった。JAL、UAにはお世話になり感謝している。メリットは、飛ぶ為に自家用操縦士でも毎年航空身体検査をパスしなければならない。人間ドックに入らなくとも身体のチェックが定期的に行える。もっとも一つでも欠陥が見つければその時点で飛べなくなる。今のところ健康を保っている、ありがたいことだ。

1997年に飛行機野郎6人で中古機セスナ172型を購入、オーナーパイロットの仲間入りをした。5年間全国を飛んで楽しんだが、ここにきて仲間の二人が長引く不況の影響でダウン。4人で維持する事は費用がかさみとても無理なので我が「コンドルフライトクラブ」は2002年1月に残念ながら解散した。

※ 日本には小型機～ジャンボ機合計約3600機（民間機）で非常に少ない。

#### 小型機の機内は暖房OK、冷房・トイレなし

エアラインの旅客機は快適だがセスナは、そうはいかない。エンジンの熱を利用した暖房はあるが冷房はなし。スピードは180kmぐらいのため窓を開けるわけにはいかない。真夏は大変（小さなダクトから外気を取り入れてはいるが）トイレもないから夏、冬は2時間位が連続飛行の限界である。

#### ATC(航空管制)は英語が公用語

日本の空を飛ぶのになぜ英語でATCをやるのか疑問をもたれるかも知れないが残念ながら通常は英語である。日本人どうして英語を喋るのは何か変だがこれも歴史である。ただ当方がゆっくり喋れば管制官もゆっくり喋ってくれる。特にプロでない私達には親切に誘導してくれる。

#### 国内で月1回程度のFLIGHTを楽しむ

米国の同時多発テロ以降、FLIGHTを楽しみに西海岸に行けなくなったと同時に不況でオーナーパイロットでなくなったが、それでも“空を飛ぶ”この単純かつ難解な夢を追いつづけて、月1回のペースでレンタル機や双発訓練機に同乗し、飛行機野郎と日帰りで行ける西日本空域のFLIGHTを楽しんでいる。

「夢がなくなれば老いる」と言う説を信じて夢を失わない人生を歩んでいきたいと思っている。

(元 シャープツーリスト)

## 体性の機能障害という疾患

東洋オステパシー研究所 理事長

理学博士 早瀬久義

高齢化社会を迎え益々国民の健康への関心度は高まっています。それは何も高齢者に限らず若年層にも及んできています。あまりにも急速な文明社会の発展によるひずみが人間の体に起こり始めているのです。

大は地球温暖化、大気汚染、工場廃液、ダイオキシンなど身近なものではファーストフードやコンビニなどの偏った食生活など。又、卑近な例としては職場でのコンピューター化など、文明が人間の体をむしばんで行く様に思われます。現代人は極端に体を動かすことが少なくなったのです。事務職の人は一日中パソコンとにらめっこ、ブルーワーカーと呼ばれる工場関係の人でさえ、コンピューターで処理する時代となりました。家庭婦人も家事労働から解放されインターネットに興じ、昔なら子供達は日が暮れる迄外で泥んこになって遊んでいたものが、テレビゲームやファミコン遊びをしています。以前では考えられなかった事です。子供にまで肩こりや糖尿病といった疾患が起り始めているのです。こう言った体を動かさないひずみが現代人の老若男女を問わず起り始めているのです。これこそが文明病とも生活習慣病と言われる筋骨格神経系に属する体性の機能障害です。最初は軽い肩こり、腰痛から頭痛に始まり、引いては重大な機能障害へ移行してしまいます。

現代医学は飛躍的に進歩しました。それは病原菌の発見とそれを滅する化学薬品の開発により発展し、昔では治らなかつた病気も克服できる様になり、人間の平均寿命も飛躍的に延びました。これからは遺伝子治療と言ったもっと高度な医療の時代に入っていくでしょう。

しかし、ここでこれだけ進んだ医学にもかかわらず盲点があったのです。現代文明社会が造りだす前述の様な生活習慣病から端を発する筋骨格神経系の疾患です。病の原因は、細菌やウイルスによるものばかりとは限りません。要するに高度な現代医療が対処できない様な疾患が現代人には増えてきているのです。人間の体は、筋肉と骨で構成されています。一部毛や爪もありますが、殆どが筋肉です。一般的に筋肉と言えは腕や大腿、背筋を思い浮かべるかもしれませんが、内臓の臓器一つ一つも内臓筋と呼ばれる筋肉なのです。

こうしてみると人間の体はほとんどが筋肉だということがお分かりでしょう。筋肉は使わないと衰えて柔軟性を失い、細く縮んでいく傾向があります。筋肉の中には毛細血管や末梢神経が網の目の様に広がっており、筋肉が縮むことによって色々な障害が起こります。まず血管を圧迫して血の流れが悪くなります。末梢神経が圧迫されると、その部分が痛みやだるさとなって現れることもあります。又、脊柱を支えている筋肉が萎縮すると脊柱をズレさせてしまい、今度は脊柱管の中を通っている中枢神経から各脊椎骨の間から出ている神経根の圧迫が起こります。そしてその神経の末梢にある器官に痛みやしびれなどの機能障害が起こります。それが腰椎4番・5番と仙骨の間から出ている神経根に圧迫が加わると、

脚の痛みやしびれとなって現れますし（いわゆる坐骨神経痛）、頸椎の6番・7番と胸椎の1番の間から出ている神経根であれば、手のしびれや痛み、又は動かさにくいと言った症状で現れます。頸椎の1番・2番と、後頭骨の間の神経根圧迫は耳鳴り、目まい、偏頭痛などのメニエール症候群的な症状を呈しますし、又他に胸・腰椎の変位はそれぞれ内臓諸器官の障害をもたらすこともあります。

この様に筋肉の萎縮は末梢部位・器官そのものと、中枢神経根との両方の相関関係によって障害を起こしますのできわめて重大です。

筋肉が萎縮すると悪くなると言いましたが、どうして萎縮するのでしょうか。第一の原因としては、運動不足による退化性のものであります。逆にスポーツ選手などの様に使い過ぎても筋疲労を起こして萎縮します。又打撲などの後遺症、寝不足、神経的ストレス、習慣性体位などによってバランスを崩し、片側の筋萎縮を誘発します。そして筋肉が萎縮しても、一過性であれば軽い運動で解放されるものなのですが、重なって萎縮が続いていると今度はなかなか元に戻らなくなります。継続的に縮んだ状態を「筋拘縮」といいますが、この筋拘縮がなかなか元に戻らなくなると色々な障害の原因となるのです。

筋肉が縮む原因はもう一つあります。老化に伴う退行性の筋短縮です。

これは老化に伴う生理的な筋短縮ですから仕方のない事です。日常の心掛けによって努力次第では遅らせる事が可能です。これで細菌やウイルスは先天的な障害によるもの以外、慢性的な疾患は筋拘縮によって誘発されることがお分かり頂けたと思います。慢性的な腰背部痛、肩こり、頭痛は黄信号です。

ひいては不定愁訴や自律神経失調症など、又慢性的な内臓疾患、高血圧、不整脈、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞、糖尿病などを誘発する原因ともなりかねません。これらはいわゆる非菌性の疾患ですので、現代のアロパシー医学の局所対症療法である薬の投与では根本的な改善は望めません。それでアメリカではこれらに対処するオステオパシー医学と言うのがわずかながら存在します。全くの素手による手技療法ですが、州立、私立と併せて20校程医科大学もあります。しかし治療時間や医師自身の体力的なもの、採算性などの問題があつてこの卒業生の医師達は開業医になるとこの療法を使わずに、一般医師と同様の医療を行う様になってなかなか発展しなかつたのです。そこでアメリカで民間療法として発展してきたカイロプラクティックがオステオパシーを基盤として流行してきたのです。オステオパシーは一部医師によって深く静かに潜行して研究が続けられ、あまり世間に知られる事がなかつたのです。

私も当初カイロプラクティックを研究していたのですが、その内偶然にも、オステオパシーというものがある事を知り

10年間に渡って研究し、その間アメリカの研究所などで実地見分して日本に持ち帰り、民間療法として広めようと小さな学校と治療所を開き今日に至りましたが、その間医師、歯科医師、柔道整復師、針灸師、カイロプラクターや一般素人の志ある人達900名余りの卒業生を世に送り出し、患者さんでは北は北海道から南は沖縄迄、又海外から来られた患者さんも診させて戴きました。

今後このオステオパシー療法がどこまで病院、医院で取入れられるか、臨床医達も現実問題として補完医療や代替医療としてこの自然医学を注目し始めているのは確かです。

前述の様に、採算性や治療時間の長さがあるってアメリカや日本でも一般医療機関での受診は遠い先の事となるでしょう。

その間はやはり民間セクターが担当する事となるでしょう。それより皆さん方も高齢化を迎え、健康についてはそれなりに気をつけられている事と思いますが情報化時代の今日、誤った情報も飛びかっていますし医療機関への不信や倫理を問われる時代です。自分の事は自分自身で守らないといけません。

正しい知識を身につけ、今後の老後を楽しく過ごせる様に念じております。

(元東急観光・アメリカンエクスプレス)

早瀬久義 略歴

- 昭和36年 立命館大学卒業東急入社
- 昭和44年 アメリカンエクスプレス入社
- 昭和45年 アメリカンエクスプレス大阪支店開設  
支店長
- 昭和49年 同社退社 日本ツーリング㈱ 設立
- 昭和52年 東洋医研㈱設立 医療関係
- 昭和59年 東洋カイロプラクティック学院 開校
- 平成 6年 同校を東洋オステオパシー学院に名称変更

- 平成 7年 カリフォルニア・キリスト教大学より理学博士学位記
- 平成11年 社会文化功労賞 受賞
- 現 在 東洋オステオパシー学院、同研究所臨床センター 院長  
東洋オステオパシー協会理事長 全国日本学士会会員  
オステオパシーに関する著書4冊発行



— 会 員 紹 介 —

“93歳の青春” 平井 千代蔵 氏

シニア会の誇る最高齢会員、平井千代蔵氏（元阪急交通社常務取締役）は音楽、俳句、写真・・・と多彩な趣味を糧に老後をエンジョイしておられます。なかでも、60年以上のお付き合いというチェロは玄人はだして、昨年第2回を迎えた「1000人のチェロコンサート」では3年前の第1回に続いて最高齢チェリストとして出演されました。音楽との出会いは慶応幼稚舎時代、ともに故人となった岡本太郎、藤山一郎と机を並べていた頃とのことですから幼少の頃から芸術的素養と環境に恵まれていたのでしょうか。



さらに、昨年12月にはライオンズクラブの仲間と写真・書道のジョイント個展を開催され、写真作品を出展されました。健康管理のために郊外を歩く楽しみと兼ねて風景写真を楽しんでおられるようですが、プロ顔負けの作品ばかりです。

シニア会の総会は毎年平井さんの乾杯から始まるのが恒例となりましたが、ますますお元気で人生をエンジョイされている最高齢会員平井さんにあやかりたいものです。

平井さんの長寿に年齢を感じさせない秘訣は、あの好奇心旺盛で、カメラを抱えてシャッターチャンス求めて飛び歩くバイタリティと、チェロという優雅な趣味、そしてあのセンスの良い服装のダンディズムにあると思います。VIVA 93歳!!!

# キャメロンハイランドは素晴らしい高原リゾート

## —ロングステイ体験ツアーへのお誘い—

山田 晴 義



高原の中心、タラナタの町並み



フラットで快適なゴルフコース

「リタイアした後は、のんびりと海外のロングステイを楽しみたい」、こんな思いからオーストラリア・カナダ・トルコ・スイス・イタリア・ハワイなどに夫婦で旅してきました。

そんな折に、「美しい自然と快適な気候」「安い物価」「親日的で治安が良い」とMalaysiaのキャメロンハイランドを教えられ、1月末から行って参りました。まず驚いたのは、熱帯地方ながら海拔1,500メートル余りの高原だけにマレーシアにいることを忘れさせるような気候の快適さです。朝は17、8度の涼しさ、日中は22～4度まで上がりますがゴルフをしても汗をかきません。湿度も適当で唇が乾くことがない快適さです。次に物価の安いこと。ゆったりした高級ホテルで、1部屋3,000円～4,500円、食事も贅沢なタイ式スチームボードとビールを飲んでも500円。ゴルフをキャディ付で楽しんでも2000円ぐらいです。

洗濯物は4kgまで220円、タクシーは町内150円、1時間貸切で700円位の安さです。3点目に、全く不安を感じさせない治安の良さです。中心地タナラタの町は人口5000人位とのことですが、人々は親日的で明るく気軽に声をかけてきます。又、町には3ヶ月位の長期滞在の日本人が冬と夏に2、30人住んでいますですがすぐ親しくなり、家に誘われたり、ゴルフを共にするようになります。女性は、「何もしない贅沢」を楽しみつつ、趣味の仲間がすぐ出来るとのことです。

このように年金生活者でも夫婦で月15万円程度で過ごせる「ロングステイに最適な条件」を備えています。本格的なロングステイに備えて下見を兼ねた体験ツアーを計画しております。

会員の皆様のご参加をお待ちしています。

(元 日本旅行)

### \*\* 事務局からのおしらせ \*\*

今年度のシニア会アクティビティーの一環として、マレーシア政府観光局のサポートを得て「キャメロンハイランド・ロングステイ体験ツアー」を企画いたしました。

美しい自然、過ごしやすい気候、安い物価、治安の良さ、親日的な国民、英語が通じる・・・等、長期滞在の条件が全て揃っているといわれるのがキャメロンハイランドです。別紙の案内をご参照のうえ奮ってご参加ください。

旅行委員を引き受けていただいた山田さん(元日本旅行)が、1月下旬に現地で1週間滞在され、そのご経験を基に、「ナマ情報」を寄稿していただいたものです。

さらに詳しい情報が必要な方は山田会員に直接お尋ねください。



### 編集後記

同好会活動を中心としてシニア会のアクティビティーは春の到来とともに本格的に始動しました。2002年度会報が会の活動の一助になればとの思いから、従来よりも一ヶ月ほど前倒しして皆様にお届けすることが出来ました。原稿をお寄せいただいた皆様にはずいぶん無理をお願いする結果になりましたがご協力頂き感謝しております。

デフレスパイラルの中、旅行業界もトンネルの出口が見えないまま、もがき苦しんでおりますが、「自分たちの時代はよかった」だけですますのでなく、何とか手を差し伸べてやりたいものです。

2年目を迎えた運営委員は、恒松会長のリーダーシップの下、組織のさらなる活性化をテーマとして同好会活動を積極的に支援するほか、豊かな老後の過ごし方を考えるチャンスになればと、マレーシア・キャメロンハイランドへのロングステイ体験ツアーを初めて企画しました。成功させて第2弾、第3弾の同種企画を発表できればと考えています。今後ともシニア会の運営に一層のご協力をお願いいたします。

(事務局 仲)